

廿一、帝國主義連年騒擾又誰ニ禦スル事

全

鶴間善一
瑞

中　　原　幸　吉

年自主團體聯合者要皆ニ開スル判
ナシテ猶未ヘ達遠ニ及テ猶矣ナ也。

二、アマミヨシ通田中通吉・前田署大長古名ハ謂ニ識シモ此舉
威風ヲ露ヒシムニシテ猶勝惜也。此固リ貴否モ擧手ニ問コセバ
ハ主義主張ハ氣盛ニモ貴否を決シテ是イテガ主義勝也。而後
ハ早指ニ失ス。イ論既に失スニ接シテセシニ傳翰讀年通ヘ勝合
意承取事參照頼。日暮暮也。此讀也。而後是傳翰參照勝スル矣
ニ不勝今ハ勝モ加會另主主義主張圖也。其猶主義通意勝也。而後
再勝合ハ加會另主主義主張圖也。其猶主義通意勝也。而後
再試兩番參照會主義主張シモ猶モス丑爭卿曰市事發業

一三、新役員ノ決定

原　　良　業

財團法人總局會大阪支所

株尾雄三ヨリ左記ノ如ク役員證衝ノ結果ヲ報告、異議ナク決
定。良義通單大長谷川春日部修一助秋三七雄、岩崎健一郎。

中央執行委員長

柴　　田　　良　　夫

長　　谷　　川　　義　　雄
春　　日　　部　　修　　一
大　　亦　　市　　之　　助
原　　妹　　遊　　川　　正　　雄
岩　　崎　　副　　佐　　崎　　三　　七
崎　　健　　一　　郎

一四、宣言發表 別紙ノ通り可決

(宣言中不穏ノ字句ハ當局ヨリ抹消ヲ命ゼラレタ)